

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	那智勝浦町立下里小学校	泉 一代
学校所在地		
〒 6 4 9 - 5 1 4 2 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里 2 8 6 2 tel 0 7 3 5 (5 8) 0 0 2 1 fax 0 7 3 5 (5 8) 0 9 4 9 e-mail simosho@za.ztv.ne.jp		
担当者名		役職名・担当教科
野田 智子、山下 小波		教諭・5年生担任 6年生担任
〔学校の概要〕 本校は、郡内でも有数の米作地域である太田川の河口部に位置し、校区内には平野部と海岸台地がある。かつては木材の集散地として人々が盛んに往来したため商業地としても栄えたが、林業の衰退に伴い地域の産業構造も変化した。現在、保護者の多くは地域外に就労しているが、代々当地区で居住している家庭も多い。教育への関心も高く、社会教育活動への参加も熱心で、人々の連帯感も強い。佐藤春夫(1892-1964)の曾祖父で歌人でもあった佐藤百樹が私塾「懸泉堂」を開き教育に当たったことから、歴史的に見ても教育に関心が高い地域であるといえる。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5・6年生 28名	職員 4名	本校、熊野参詣道大辺路・中辺路、那智山
実践研究テーマ		
共に学び合い、主体的に活動するたくましい児童の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	5年生「世界遺産について調べよう」 6年生「考えよう！地域の未来」	
〔キーワード〕 世界遺産学習 地域学習 総合的な学習の時間 清水峠		
〔単元目標〕 1, 地域のたからものについて詳しい方や和歌山県世界遺産センターの方々から話を聞いたり、実際に熊野参詣道を歩いたりすることで、自分たちの地域の魅力を理解する。（知識及び技能） 2, 世界遺産の意義や未来に伝え残していくという考え方を知り、これからの地域のあり方について自分なりの考えをもち、発信していく。（思考力、判断力、表現力等） 3, 自分たちの住んでいる地域のたからものについてすすんで調べ、より良い地域の未来について考えようとする。（学びに向かう力、人間性等）		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 5年 全体 15 時間 （10時間 「世界遺産について調べよう」） 6年 全体 32 時間 （11時間 「考えよう！地域の未来」）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 なちかつ古道を守る会・那智勝浦町教育委員会生涯学習課 …… 総合的な学習の時間「清水峠を歩こう」 和歌山県世界遺産センター・和歌山県世界遺産マスターの方々 …… 次世代育成事業（世界遺産講座・現地学習 等）		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

< 5 年生 > 「世界遺産について調べよう」

時	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> 世界中の世界遺産を見てみよう。 興味のある世界遺産を調べ、まとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験から、世界遺産について知っていることを出し合うようにする。 インターネットを利用しながら、多くの情報を収集し、個々にまとめるようにする。 	学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地域にある世界遺産について調べよう。 熊野三山 熊野那智大社 青岸渡寺 補陀洛山寺 熊野参詣道 那智の滝 那智原始林など 	<ul style="list-style-type: none"> 4年生の時に社会科「地域にのこしたいもの」で学習したことや清水峠を歩いたことなどを思い出せるように、昨年の資料を用意しておく。 パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。 	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
7 ・ 8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の場所を訪れよう。 和歌山県世界遺産センターの先生から世界遺産講座を受ける。 【フィールドワーク】 熊野参詣道中辺路(かけぬけ道～熊野那智大社・那智山青岸渡寺～那智大滝)を歩こう。 参詣道の保全活動をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産講座を受講し、世界遺産の価値を理解した上で、参詣道ウォークを行うようにする。 和歌山県世界遺産マスターの方々のお話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。 実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分たちで守っていくという意識づけをさせる。 	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
10	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことや体験したことをもとに学習を振り返り、たからものカードにまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、資料を基に学習を振り返る。 フィールドワークで得た情報も活用できるようにする。 	思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)

< 6 年生 > 「考えよう！地域の未来」

時	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 ・ 2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> 地域について詳しく調べよう。 これまで学習してきた地域のこと、さらに知りたいことについて調べる。 下里古墳、下里水路観測所、懸泉堂、熊野古道、佐藤春夫、那智の滝、勝浦温泉、世界遺産 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科や総合的な学習の時間に学習してきたことを振り返るようにする。 パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。 	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
4 ・ 5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 地域の未来について考えよう。 地域に顕在する問題について考える。 地域を活性化していくには、どうすれば良いか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の人たちにも協力してもらい、地域についてのアンケート調査を行い、現実問題として捉えることができるようにする。 	学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート) 思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)

7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の場所を訪れよう。和歌山県世界遺産センターの先生から世界遺産講座を受ける。 【フィールドワーク】 熊野参詣道中辺路（かけぬけ道～熊野那智大社・那智山青岸渡寺～那智大滝）を歩こう。 参詣道の保全活動をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産講座を受講し、世界遺産の価値を理解した上で、参詣道ウォークを行うようにする。 和歌山県世界遺産マスターの方々のお話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。 実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分たちで守っていくという意識づけをさせる。 	<p>知識及び技能 (ワークシート)</p> <p>学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)</p>
10 ・ 11	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことや体験したことをもとに学習を振り返り、ワークシートにまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、資料をもとに学習を振り返る。 フィールドワークで得た知識も活用できるようにする。 次单元「地域の未来について提案しよう」につながるよう、世界遺産の考え方やユネスコの理念についても取り上げるようにする。 	<p>思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)</p>

〔単元学習の成果と課題〕

【成果】

5年生は、昨年度「清水峠を歩こう」の学習で、校区内の世界遺産「熊野参詣道大辺路清水峠」を「なちかつ古道を守る会」のみなさんと共に歩いた。今年度は範囲を広げ、熊野三山について学習した。熊野参詣道中辺路かけぬけ道を和歌山県世界遺産マスターの方々のご案内のもと歩き、世界遺産の偉大さや魅力を肌で感じ取ることができた。また、道普請をさせていただいたおかげで、参詣道を自分たちの手で大切に守っていかなければいけないという意識をもつことができた。

6年生は、一昨年度清水峠を、昨年度は熊野本宮大社周辺を自分の足で歩き、参詣道そのものや周りに広がる美しい景観を見て、その魅力を家族や周りの人に伝えてきた。今回のかけぬけ道から那智大滝のコースでは、和歌山県世界遺産マスターの方々から、参詣道や昔の熊野詣の様子について教えていただき、昔の人の熊野詣のたいへんさやそこにかかる思いを感じ取ることができた。また、道普請をさせていただいたおかげで、参詣道を自分たちの手で大切に守っていかなければいけないという意識をもち、地域の未来を考える上でも必要なものの見方・考え方を身に付けることができた。

【課題】

熊野三山が霊場として崇められていたことや神仏習合という考え方等、高学年でも理解するのが難しい内容をどう知らせていけばよいのか、どこまで知らせればよいのか、再検討する必要がある。参詣道は、大雨や猪による被害で歩きにくいところが多かった。少し横には深い谷があり、険しい道を昔の人たちはどのような思いですっと歩いていたのかを想像することはできた。しかしながら、安全面での心配があった。事前の下見も行ったが、もっと直前にいき、道の今の状況を教員間で把握しておくべきであった。

〔世界遺産学習の効果〕

5年生は、世界遺産登録資産を含め昔からある貴重なものや場所を「地域のたからもの」として、下里小学校区から那智勝浦町内、そして熊野地域へと範囲を広げながら学習していった。和歌山県世界遺産センターの方々や、和歌山県世界遺産マスターの方々の話を聞き、参詣道を歩き熊野那智大社や青岸渡寺、那智大滝を見学することで、その価値を肌で感じ取ることができた。

6年生は、「考えよう、地域の未来」というテーマで学習していく中で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を取り上げた。座学での世界遺産学習と現地でのウォークや道普請などの体験を通して、世界遺産の価値を肌で感じ取ることができた。自分たちの地域の未来について、世界遺産の考え方やユネスコの理念を加味しながら、児童たちなりに考えることができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についての学習は、平和学習や地域学習をする上で最良の教材である。今後、多くの学校で取り入れられれば良いと思う。しかし、学校（教員）だけで世界遺産学習を進めていくのは難しく、和歌山県世界遺産センターや町の世界遺産担当課、和歌山県世界遺産マスターの方々等に協力いただくなどして、教員へのサポートが必要である。今年度は、那智勝浦町・太地町教頭会の研修で、和歌山県世界遺産センター顧問の辻林先生に来ていただき、研修会を行った。大変有意義な研修会となったが、こういった教職員対象の研修の場をさらに設けることができれば、世界遺産学習を取り入れる学校の増加につながるのではないと思う。

校区内に参詣道があるという素晴らしい環境を生かして、今後も世界遺産学習に取り組んでいきたい。自分たちの地域の参詣道は自分たちで守り、未来へ伝え残していくという実践を行っていきたい。またそういった学校が増えるよう、周りの学校にも呼びかけていきたい。

様式 2

令和 4 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書

学習記録・活動写真]



『児童の日記より』

世界遺産

今日、世界遺産の中の文化遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習しました。

まず初めに、世界遺産センターの方と世界遺産のことを勉強しました。その方の話によると、世界中に世界遺産は一一五四件、日本では二五五件あるそうです。その世界遺産は、三つに分けられるそうです。一つ目は文化遺産、二つ目は自然遺産、三つ目は複合遺産の三つだそうです。三つも分けられているのがびっくりしました。

それから、大きいバスで那智山（熊野古道）に移動しました。着いてから、まず班に分かれました。それから、班で熊野古道をそうじしました。色々な道具を使って、とてもきれいにしました。最初はいっぱい落ち葉や枝があったけど、そうじが終わった後は、きれいで通りやすい道になりました。

その後、荷物を持って、お昼ご飯を食べる所まで歩きました。と中、木がたおれていたりして、とても通りづらかったです。道がとても細くて、下は落ちたら大けがになるくらいの所がありました。そこでは、バスにもう自分がないかもというくらいこわかったです。でも、楽しかったです。

お昼ご飯は、広場みたいな所で食べました。その場所の景色が、とてもきれいでした。ご飯もとてもおいしかったです。

食べ終わった後、また班に分かれて、那智の滝に向かいました。とてもきりが長かったです。まず、那智の滝に行く前に、神様や仏様の話を聞きました。神様と仏様は、だいたいどつちがえらいか競争みたいになるけど、私たちが住む場所では、仲が良いそうです。他にも色々話を聞きました。それから、那智の滝に行きました。那智の滝に向かっていくと、二つの木が合わさって一つの木になっているのがありました。その二つの木は、両方とも樹齢五百年と言っていました。人間は約百年くらいしか生きられないのにすごいと思います。那智の滝について後、みんなで写真を撮りました。那智の滝は、大きくてきれいで、近くで見るとはく力がありました。とてもすごかったです。また行きたいです。

『世界遺産マスターさんへのお手紙より』

先日は、世界遺産について教えてくれてありがとうございました。そうじをしていると中や、歩いていると中に、昔はコンクリートがなかったから、石で道や階段を作っていたことや、木に文字や数字をほるよりは石の方が長持ちすることなど初めて知ったことだらけでびっくりしました。そうじしていくごとにきれいになっていく道を見て、やりがいがあったなと思いました。石のかんばんにほってある数字が、十六、十五、十四、十三とどんどん小さくなっていく数に進んでいるなあと思いました。雲一つない日だったら、ふじ山が見えるなんて、初めて知りました。世界遺産学習は、いい勉強になりました。ありがとうございました。

妙法山から那智の滝まで歩いて、つかれたけど色々な話を聞くことができ楽しかったです。道普請では、葉っぱだらけだった道をきれいにすることができて、うれしかったです。那智の滝は、少しずつ後ろにさがっていきっていると聞いて、びっくりしました。下に四角い岩がたくさんあるのは、水のいきおいでけずられた岩だと初めて知りました。私は、「紀伊山地の霊場と参詣道」を歩いてみて、この世界遺産は、何十年、何百年と残していきたいと思いました。ありがとうございました。

「紀伊山地の霊場と参詣道」について教えてくれて、ありがとうございました。まず、道普請をしました。その時、「少しでもきれいに」という思いがありました。最後にしあげとして、大きいほうきで葉っぱをとりました。下から土が見えてきて、うれしかったです。私が好きなのは、「ろっこんしょうじよう、ざんげざんげ」というのです。とても心に残っています。道普請をもっと時間をかけて、一日でやりたいくらいです。ゴールの那智の滝では、つかれきった体のつかれを流してくれました。ありがとうございました。

十二月二日にあった世界遺産学習の時には、貴重な体験、勉強になるお話、ありがとうございました。特に私は、道普請が楽しかったです。なぜなら、いろんな道具でそうじするのが楽しかったし、その道を歩く人もきれいだと思えるのが楽しかったです。それに、和歌山県には、昔、火山があったということにびっくりしましたし、歩きながら歌った歌がおもしろくて、とても元気がわきました。ありがとうございました。